

区分	No.	チェック	要求項目	要求水準
駐輪台数	1	☐	駐車台数の確保	自転車1,400台、原付230台程度を確保すること なお、自転車と原付の駐車場所は区分すること
防犯性	1	☐	防犯カメラの設置	施設内に死角の無いように配置すること。また、防犯カメラが設置されている旨の表示をすること。
	2	☐	場内放送設備(注意放送用)の設置	各フロアーに1個程度設置すること
	3	☐	非常通報装置の設置	各フロアーに1個程度設置すること
安全性	1	☐	自転車の転倒防止策の構築	サイクルラック(着脱が容易なもの)等、自転車が横倒れにならないような対策を講じること
	2	☐	ゆとりある通路の確保	自転車:幅員1.5m以上、原付:幅員1.8m以上を確保すること
	3	☐	十分な駐輪間隔の確保	自転車:全幅600×全長1,900/原付:全幅840×全長2,000を確保すること 但し、ラック利用の場合は幅等を縮小することができる
	4	☐	利用及び管理上必要な照度の確保	平均水平面照度:100ルクス程度、斜路・階段50ルクス程度を確保すること(屋内自走式駐車場の場合)
	5	☐	利用者の安全・誘導サイン表示の設置	利用者誘導看板、安全確保看板、利用案内看板を設置すること また、認知性の高い明快なデザインとし、利用者の見やすい位置に設置すること
	6	☐	出入庫口の安全対策の構築	自転車と歩行者が交錯しない分離された経路を確保すること なお、出入り口の幅員は主線幅以上とすること
利便性	1	☐	屋根の設置	
	2	☐	管理人への通話装置	各フロアーに1個程度設置すること
	3	☐	24時間出入庫可能	24時間営業とし、常時連絡がとれる体制とすること
	4	☐	空気入れ、簡易修理工具等の設備	利用者の日常の利便性向上として、必要最低限の器具が配置されていること
	5	☐	定期券の導入	定期利用を可とすることにより手続きの簡素化と、放置自転車防止を図ること
	6	☐	適切な利用者料金の設定	近隣有料駐輪場と均衡した料金とし、学割等の設定を行うこと (近隣の参考値:1回150~200円、定期2,000~3,000円)
	7	☐	ペDESTリアンデッキとの接続通路の設置	利用者の利便性、安全性の向上および駅前交通の渋滞緩和のため、市が整備するペDESTリアンデッキとの接続を必須とする 接続にあたっては、他の導入施設との共有動線とすることも可とする が入口を分離すること(利用者以外の進入不可)

【加点要素】

上記基準より優れている設備・体制があれば場合加点とする。

区分	No.	視 点	評価事項
設備	加点	昇降設備の設置	立体駐輪場においては、サイクルコンベアやエレベーターなど昇降の負担を軽減する対策を講じられていること 平面駐輪場の場合においても、ペDESTリアンデッキに接続することから、エレベーターおよび階段を設置すること
防犯性	加点	入出管理ゲート、入出庫口への管理体制	利用目的外の進入がないような管理設備および体制が優れていること
安全性	加点	床面仕上げの配慮	防滑性、耐摩耗性等を考慮した仕上げとしていること
利便性	加点	駐輪場整備場所の配慮	自転車利用者の動線を考慮し、目的地(駅)との距離に配慮すること 道路通行者からよく見通しのきく場所であること